

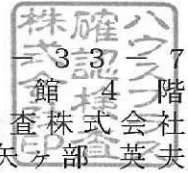
HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成26年5月30日

受付日：平成26年3月18日
受付番号：HP14-KT051

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 矢ヶ部 英夫



1. 接合金物名称	10kN用 2×4オメガコーナー
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	「たて枠-床根太」の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「10kN用 2×4オメガコーナー」 材 質：SGHC(JIS G 3302*1) 寸 法：50mm×50mm×136mm(外形) t=3.2mm 接合具用孔：5-φ7.5mm、3-φ6.5mm 表面処理：Z27(JIS G 3302*1)</p> <p>2) 接合具</p> <p>たて枠側：「木ねじ TBA-65」5本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23% Mn;0.70~1.00% P;0.030%以下 S;0.050%以下 寸 法：頭部φ9.3mm L=65mm 表面処理：エコーTWH処理</p> <p>床根太側：「木ねじ TBA-150」3本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23% Mn;0.70~1.00% P;0.030%以下 S;0.050%以下 寸 法：頭部φ10.8mm L=150mm 表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>たて枠：38mm×89mm×600mm S-P-F 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 2本 含水率：11.0~12.5% 全乾密度：0.43~0.48g/cm³</p> <p>下枠：38mm×89mm×700mm S-P-F 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 2本 含水率：15.0~17.0% 全乾密度：0.40~0.43g/cm³</p> <p>床根太：38mm×140mm×1000mm S-P-F 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 2枚 含水率：11.0~12.0% 全乾密度：0.43~0.47g/cm³</p> <p>*1 JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体は、たて枠中心から床根太の両側400mmの位置で鉄骨架台に鋼帯(接触面の幅：75mm)を用いて強固に緊結した。
7. 試験結果	基準許容応力 6.81 kN、基準終局耐力 17.90 kN、短期許容耐力 10.21 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成26年4月15日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介 土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。